

2009年度

科目名	日本文芸思潮史		
担当教員	井上 新子		
配当	日文2	コード	44110
開期	前期	講時	木曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	王朝物語の男君の〈恋〉の行方		
目的と概要	中古から中世へかけて盛んに制作された王朝物語は、その題材として〈恋〉を描くことが多い。本講義では、その〈恋〉の多様な様相の中でも、とりわけ男君の思慕の様態に着目し、文学史的な展開の相を概観することで、各作品から垣間見える思念の様相とその変遷を探究することを目指す。		
成績評価法	平常点(講義時の小課題への取り組み・発言等)(35%)、レポートの成績(65%)を勘案し、評価する。		
テキスト	プリント配布。		
参考書	講義内で、適宜紹介。		
履修に当たっての注意・助言	平安時代の物語のみならず、鎌倉・南北朝・室町の物語へも眼を向ける。講義では、概要の紹介と注目したい本文箇所をの抜粋にとどまる。とりあげた物語に興味を抱いたら、各自で読みすすめてほしい。		
講義計画			
第1回 本講義の概要—目的、方法、中古・中世の王朝物語の流れ 第2回 女君を思慕する男君の源流—『竹取物語』の帝 付『うつほ物語』 第3回 恋する男君の原型(1)—『源氏物語』の光源氏・夕霧・柏木・薫・匂宮 第4回 恋する男君のもう一つの原型(2)—『狭衣物語』の狭衣 付『浜松』・『寝覚』 第5回 話型における固定的性格(1) 第6回 話型における固定的性格(2) 第7回 話型における固定的性格(3) 第8回 型の変奏と物語の特性(1) 第9回 型の変奏と物語の特性(2) 第10回 型の変奏と物語の特性(3) 第11回 型の変奏と物語の特性(4) 第12回 型の変奏と物語の特性(5) 第13回 〈女〉と〈男〉の焦点化 第14回 〈恋〉の対象化 第15回 まとめ			